SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
7	不良灯油による石油暖房機器の故障や異常に注意（報道発表）	灯油は保管方法を誤ると太陽光や熱による変質、水や灯油以外の油・ごみ等の混入などで不良灯油になることがある。そこで、実際に不良灯油を作成し、それらを石油暖房機器に使用することで、どのような異常が生じるかテストを行った。	直射日光の当たる屋外で灯油を保管した場合、灯油専用ではないポリ容器は紫外線透過率が高く、約半月で変質が見られた。変質灯油を石油ストーブに使用すると、給油タンク一杯分の量で、芯にタールが付着して火が着かなくなることや、緊急消火ボタンを押しても火が消えないことがあった。また、石油ファンヒーターでは点火できなくなり、刺激臭のする煙が出るようになった。 取扱説明書や本体などには、不良灯油の使用を禁止することや、使用してしまった場合の症状、解決策が表示されていた。また、不良灯油が原因の故障は保証期間内でも、有償修理となることが表示されていた。
8	キャンドルブッシュを含む健康茶（報道発表）	キャンドルブッシュを使用した 15 銘柄の健康茶に、これらを利用することによって、どれくらいセンノシドを摂取する可能性があるのか、十分な注意表示はあるのか等を調べた。	全ての銘柄からセンノシドが検出され、約半数の銘柄は、カップに 2、3 杯の量を飲むことで医療用医薬品と同程度の量のセンノシドを摂取する可能性があった。多量に摂取した場合、下痢になる可能性がある旨の注意表示をしていた銘柄はなかった。
9	スマートフォンの充電端子の焼損や本体の発熱に注意（報道発表）	「スマートフォンの充電端子の焼損や本体の発熱等」に関する相談が、スマートフォンの普及とともに急増していることから、同様のトラブル拡大防止のために消費者へ注意喚起を行うこととした。	消費生活センター等の依頼によるテストの結果、充電の際、充電端子の接続部がショートに近い状態となって発熱し、周囲の損傷に至ったものや、ゲームアプリやテレビ電話の使用によって、内部回路の CPU などへの負荷が増大したことによって発熱したものがみられた。
10	ステロイド不使用をうたった医療機関で処方された漢方クリームにステロイドが含有（報道発表）	ステロイドを使わず、漢方でアトピー性皮膚炎の治療を行うとインターネットでうたっていた「漢方クリーム」についての相談が消費生活センター等より寄せられ、複数の当該品にステロイドが含まれていたことから消費者に周知するため情報提供することとした。	当該品には、外用ステロイドホルモン製剤の有効成分の作用の強さとして 5 段階に分類されている中の最も強いランクにあるプロピオン酸クロベタゾール（クロベタゾールプロピオン酸エステル）が、国内で医薬品として承認されているプロピオン酸クロベタゾール製剤とほぼ同程度含まれていた。